

	自己評価	学校関係者評価	次年度の努力点
学校経営全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「心身ともにたくましく夢を抱き挑戦する生徒の育成」に向けて、具体的な取組を毎週校長だよりで示している。</li> <li>・年5回の学校生活アンケートの実施、年3回の教育相談の実施だけでなく、チャンス相談をとおして、いじめの早期発見、早期対応に努めている。</li> <li>・スマートフォンに起因する案件が多く、外部講師による情報モラル教育を複数回実施した。また、スマートフォン利用のガイドラインを作成し、保護者及び生徒に注意喚起を行った。</li> <li>・生徒、教職員共に、充実した学校生活を送れるよう、人的・物的教育環境の充実に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校の原因はいろいろあると思う。家庭を含め、なお一層きめ細やかな対応に心がけてもらいたい。</li> <li>・積極的に取り組んでいると思います。</li> <li>・実際に子どもたちがどのくらい学校が楽しいと感じているかわかりませんが、外から見てると楽しそうに感じます。同じように教職員も学校を楽しみ、西中が楽しいと感じてくださると嬉しいです。いろいろな生徒さんがいる中で一人一人と真剣に向き合うのは大変なことですが、西中の子どもたちは「宝」ですので、今後も丁寧な指導に期待しております。また、最近の西中はとても落ち着いており、素晴らしい学校だと思います。</li> <li>・学校の雰囲気が明るく感じます。廊下で先生や生徒の方々とすれ違う時、気持ちよく挨拶をしてくださいます。とても良いことだと思います。生徒同士のトラブル、不登校等、先生方はすぐに対応してくださっていると思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参観や学校行事など、保護者や地域の方々が子どもたちの様子を参観できる機会を増やしていくとともに、引き続き学校だよりや学校ホームページをとおして積極的に情報発信していく。</li> <li>・スマートフォン利用のガイドラインについて、保護者会や学校だより等でさらに周知を図っていく。</li> <li>・校内教育支援センターの学習評価を見直し、より多くの不登校生徒が社会復帰できる力をつけられるよう支援していく。</li> <li>・落ち着いた学校生活の基盤の上に、生徒一人一人が充実した毎日を送れるよう、具体的な取組を続けていく。</li> </ul>
魅力ある授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすい授業を目指して、相互授業参観だけでなく、年1回すべての教職員が研究授業を行うとともに、他校参観を行い、指導方法の工夫改善をすることができた。</li> <li>・自主学習の提出率が低く、放課後に対象生徒を残して個別指導しているが、1日1ページをこなす作業になっている生徒が多い。</li> <li>・タブレットを使った授業配信については、体育以外のすべての授業で日常的に授業配信を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒個々への対応や指導方法の工夫が見られた。先生の努力が生徒の学習意欲の向上につながっていた。</li> <li>・メリハリのある授業、先生も生徒も楽しめる授業がいいと思います。授業風景を見た時に生徒たちが手を挙げたり、先生たちの声掛けの雰囲気がよかったです、それを続けてほしいです。</li> <li>・先生方からの一方通行の授業ではなく、生徒も一緒に参加できている授業だと思いました。手を挙げる、発言をする、笑いがある、笑顔で取り組む、そして自分との闘いのように集中している。このようなクラスが何クラスもあり、素晴らしいと思いました。今後は、この環境が成績アップにつながってほしいと思いました。</li> <li>・同教科、同学年で数人の先生方が授業を受け持っていますが、先生によってわかりやすい授業、わかりにくい授業があるようです。生徒にとって楽しく分かりやすい授業を望みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度サマータイムの実施に伴い、朝学習の時間を帯で設定し、基礎学力の向上を図っていきたい。</li> <li>・個に応じた丁寧な指導ができるよう、ICTを活用した個別最適な学びの充実を進めていくとともに、引き続き数学科において少人数授業の展開をしていく。</li> <li>・教科担任によって、指導方法や指導内容に差が出ないように、教材の共有を徹底するとともに、相互授業参観等をとおして指導方法の工夫改善をしていく。</li> <li>・タブレットを使った授業配信については、来年度も実施していくとともに、学習保障を図る。</li> </ul>
魅力ある学校生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会活動については、生徒会本部役員が「ポイ捨てゴミ拾い大会 in 四街道」に参加し、地域に貢献することができた。</li> <li>・教育相談は、年3回実施し、そのうち2回目は担任以外の教職員を選んで相談できるように配慮し、事案の早期発見、早期対応ができるように心がけている。</li> <li>・学校行事については、熱中症予防の観点から体育祭を5月開催とし、安全に実施することができた。</li> <li>・部活動については、今年度から野球部において地域移行が9月から始まった。部活動指導員も3つの部活で入っており、教職員の負担軽減を図るとともに、生徒にとってより充実した活動になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外での挨拶ができる生徒に育てている。この生活習慣を続けていただくようお願いしたい。</li> <li>・昔のいいところを残しつつ、今の生徒たちに会う生活があれば、行きやすく、保護者との会話につながると思います。</li> <li>・学校内で多くの生徒さんが挨拶してくれました。子どもたちの笑顔と元気が素敵でした。部活動についてですが、参加している生徒さんが多いと伺い、安心をしました。何かに取り組むことや、頑張ること、人間関係などたくさんを部活から学べます。部活に限らず、委員会活動なども参加し、勉強以外のことも学んでほしいです。子どもたちが悩んだ時には、相談できる環境があることも魅力の一</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会活動等について、トップダウンの活動ではなく、生徒が人前に立ち自分の言葉で語り、活動できるような機会を充実させていきたい。</li> <li>・教育相談については、引き続き年3回設定し、担任だけでなく相談しやすい職員とも実施できるよう機会を確保していく。</li> <li>・学校行事については、柔軟に見直しを行い、生徒にとって有意義なものになるよう教育課程上に位置づけていく。</li> <li>・部活動については、来年度バレーボール男子の地域移行が始まる。生徒にとってプラスになるよう調整していきたい。</li> </ul>

		<p>つです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談、普段なかなか先生と生徒で個別に話をする機会を作ることが難しいと思うので、このような相談日を設けているのは良いことだと思います。</li> </ul>	
魅力ある夢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍において職業体験学習が見送られてから、保護者にとってキャリア教育の実施状況が見えにくくなっている。</li> <li>・1年生では、校外学習に畜産体験を取り入れ、学級毎に体験学習を実施した。</li> <li>・職業体験学習に代わる機会として、2年生の校外学習に企業訪問学習を取り入れた。事業所による体験内容の差を埋めることが課題である。</li> <li>・2年生を対象に、市内在住のパラスリットのお話を聞く機会を設け、夢を育む授業を実施することができた。</li> <li>・三者面談をとおして、生徒と保護者が合意形成できるよう情報提供を行った。進路事務においては、WEB出願の手続き等において、課題が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒は夢や目標を持っている。先生はこの夢や目標の手助けをお願いし、生徒の成長の機会となってください。</li> <li>・勉強、部活もそうですが、校外学習、職場体験を選んで行うことができたきっかけができるのかなと思いました。</li> <li>・夢を見つけれない子供たちが増えていると聞いておりましたが、自分の夢に向かって進路を決めた生徒さんもいらっしゃるようで、先生方の進路指導が生徒さんそれぞれに合わせて取り組まれているのがわかりました。学校として職業体験を行ったり、いろいろな職業の話聞く機会をもっと幅広く取り組めることに期待しています。</li> <li>・生徒は先生方をよく見ているように感じます。時には、先生方を見て将来の夢が決まることもあるようです。日頃から先生方が学校全体に良い雰囲気を作ってくださいているからではないでしょうか。ここから将来の中学校の先生が誕生していくのでは？ 期待しております。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育が目指す「基礎的・汎用的能力」の育成は、係活動や委員会活動など、日々の学校生活の中で培われるものであるが、それを発揮できる体験的学習の場を引き続き模索していく。</li> <li>・上級学校調べをとおして、それぞれの興味関心に沿って進路情報を調べているが、必ずしも本人の実力や適性に合ったものではないため、生徒・保護者に積極的に情報提供をしていく。</li> <li>・進路事務について、WEB出願元年となった今年度の反省を生かして、改善を図っていく。</li> </ul>
安定した学校生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶については改善傾向にあるものの、地域差がある状況である。また、サイレントゾーンを設置したが、定着が十分ではない。</li> <li>・特別支援教育において、通常の学級の教育課程で学習している生徒に対する個別の支援を充実させる必要がある。</li> <li>・保健指導については、保健室の運営方針を変更し、安定した学校生活を取り戻すことができた。</li> <li>・食育指導については、原材料費が高騰する中で、献立を工夫し、栄養バランスを保ちながらおいしい給食を提供することができた。また、残菜率を減らすことができた。</li> <li>・コロナ禍での前向き黙食指導が定着しており、対面での会食に依然として抵抗感をもつ学年がある。</li> <li>・相互授業参観をとおして、校内でICTを活用したわかる授業の実践から学び合う機会を設け、スキル向上に努めた。また、定期テストの自動採点システムについて研修を行った。</li> <li>・清掃活動については、生徒や保護者は黙々と取り組んでいると感じているが、教職員は、清掃中の私語が多く黙働清掃が崩れてきていると感じている。今年度、各清掃場所において活動内容の確認を行うオリエンテーション期間を設けたが、思わしい成果は得られなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSを発信している生徒も多い。家庭や学校でルールを皆で決める話し合いの場を提供して、自分たちのルールを作ることも考えてください。</li> <li>・不登校の子たちが、保健室に行けなくなってしまって、学校に行けなくなってしまった話など聞いています。保健室での経営も大事ですが、少しでも行きやすい場所づくりをお願いします。また、毎日通っている生徒たちを来て当たり前ではなく、褒めてあげるのも大事かと思えます。</li> <li>・学校内がとてもきれいでした。トイレもきれいで素晴らしいと感じました。清掃がきちんとしていることで、気持ちもきちんとすると思います。先生方のご指導が行き届いていると思いました。地域の方からのご意見で、「挨拶がない」「声が小さい」との話がありますので、学校内だけでなく、登下校時でも挨拶をできるようにしたいと思います。また、たくさんのことを認めてあげて子供たちの自己肯定感が高まることに期待したいです。</li> <li>・学校の給食、とてもおいしいです。献立も工夫されていて良いと思います。生徒が安心して毎日を過ごせるように、先生方は生徒のことを見守ってくださっていることがこちらにも伝わってきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶や時間を守ることにについて、継続して指導していくとともに、サイレントゾーンの定着を図っていく。</li> <li>・特別支援学級在籍の生徒について、令和7年度1年生から週当たりの授業時数の半分以上を特別支援学級の教育課程で個別の支援を行っていく。</li> <li>・不登校率の解消に向けて、校内教育支援センターでの学習評価の見直しを図り、個々人の頑張りを評価できるようにしていくことで、保健室でなくとも登校ができるような環境を整えていく。</li> <li>・給食指導については、感染症の状況を見つつ、徐々に班隊形での会食を復活させていきたい。</li> <li>・ICTを活用したわかる授業の実践について、引き続き相互授業参観や研修を行い教職員のスキルアップを図っていく。</li> <li>・清掃活動については、清掃場所ごとに手順を決め、清掃担当者がわかるような掲示物を作成するなど工夫していきたい。</li> </ul>

- ・火災、地震、不審者対応と年3回避難訓練を実施し、防災意識の向上を図るとともに、生徒とともに学区の「冠水マップ」を作成し、防災意識の向上を図ることができた。
- ・熱中症指数計を体育館と教室、各フロアに整備し、WBG 値を確認しながら教育活動を進めることができた。
- ・防犯カメラを生徒昇降口と各フロアに設置し、不審者の侵入に備えることができた。
- ・本校の教育活動が見えるよう、学校ホームページの更新をタイムリーに行い、即時性の高い周知についてはマチコミメールを活用している。
- ・学校だよりや学年だよりを定期的に発行し、積極的な情報発信を心がけている。また、今年度途中から、地域に対して、紙ベースでの学校だよりの回覧を再開し、制服の改定や本校の教育活動について周知を図ることができた。
- ・令和2年度以降開催されていなかった区長・自治会長・民生児童委員会会議を再開し、地域の方々から本校の教育活動について意見をいただくとともに、学校の様子を地域に知ってもらう良い機会となった。

- ・地域へのコミュニケーションが、今後増えていくと行事も多くなり生徒が参加でき、生徒の成長が期待される。学校の取組を期待しています。
- ・地域の皆さん、保護者の皆さんが協力できる場がコロナ禍以降減ってきているので、積極的に携われる機会があればいいなと思いました。仕事をしている方も多いので難しいところもあると思いますが、生徒たちを守っていけるように、保護者の皆さんにも頑張ってもらいたいです。
- ・ホームページがイベントごとに更新されており、学校の様子や生徒たちの様子がわかるのでよいと思います。また、校長先生、教頭先生の発言から、良い点・改善点などがわかり、常にバージョンアップしていると感じました。また、地域との関係ですが、今後も地域の力を借りることを考え、一層連携が必要だと思えます。学校、地域で子供たちの安全を守っていくことで、安心な気持ち生まれるのではないかと思います。
- ・今、学校がとても良い雰囲気にも包まれていると思います。これからも生徒が安心・安全に過ごせるよう、見守りをお願いいたします。このような学校の雰囲気を継続していけたらよいと思います。そして、さらに地域の方々に浸透していくことを望みます。

- ・熱中症対策として、サマータイムの導入を図るとともに、空調設備の増強を引き続き市に対して働きかけていく。また、防犯対策として、各教室が施錠できるよう要望していく。
- ・学校だよりや学年だより、献立表といった学校からの文書について、現在、紙ベースで情報発信しているが、マチコミメールを活用し、確実に保護者の方々の手元に届くようにしていきたい。
- ・来年度は、夏休み前と年度末の年2回、区長・自治会長・民生児童委員会会議を開催し、学校を核として地域全体で子どもたちを育てる風土の醸成を図り、令和9年度から実施予定のコミュニティ・スクールに向けて、その下地を固めていきたい。